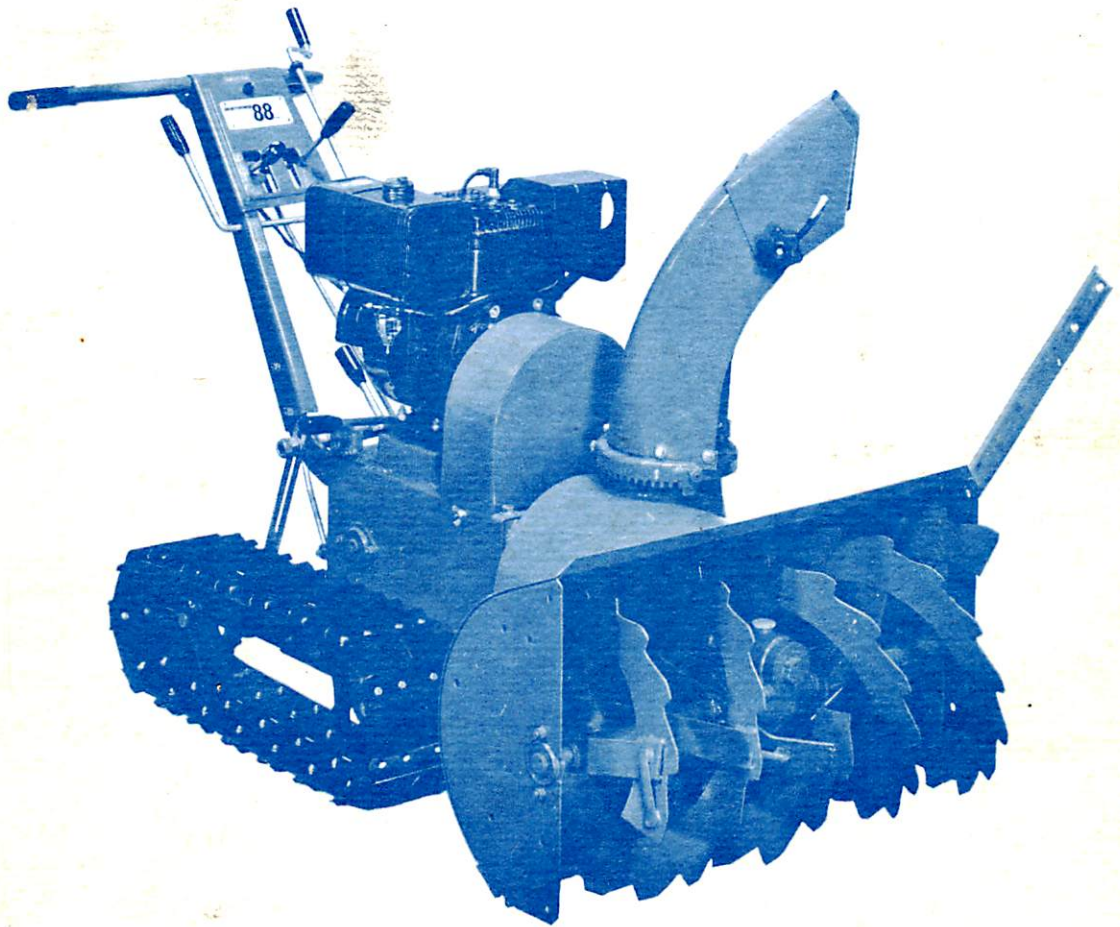


スノースロワー 88/88S

取扱説明書(部品表付)



888 5-2年

ヤナセ

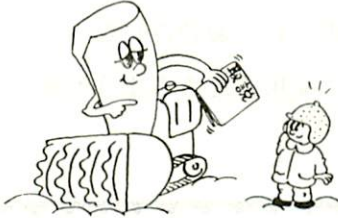
このたびは、ヤナセの小型クローラー型除雪機スノースロワー88／88Sをお買い求めいただき、誠に有難うございました。
ご使用いただく前にこの取扱説明書を良くお読みになって、本機の性能を十分に発揮され、末永くご愛用くださるようお願いいたします。

目 次

安全のために	2
特長と構造	3
各部の名称	3
始動前の点検	4
エンジンの始動と停止	5
運転操作	7
各部の点検と調整	12
注油	12
調整	13
保管について	17
配線図	17
諸元・性能表	18
保証について	19
部品のご注文について	19
部品表	21

安全のために!!

- 1 ご使用前には、必ず取扱説明書を読み、正しい操作を覚えてから運転してください。



- 2 石や氷塊は意外に遠くまで飛ぶことがありますので、投雪方向の安全には十分に気をつけてください。



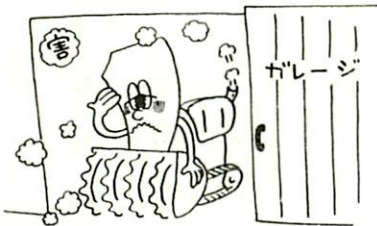
- 3 運転中は周囲の人間、特に子供を近づけない様にご注意ください。



- 4 シャーボルトの交換、シュートの雪詰まりなどのため、回転部分に手をふれる場合は、必ずエンジンを止め、さらにプラグコードを外して、不意の始動による事故を防いでください。



- 5 エンジンの排気ガスは有害です！ガレージ内、その他換気の悪い場所での運転はおやめください。



- 6 歩道や車の通る道などを除雪する際は、車に対して十分に注意する他、投雪方向の安全も確認してください。



スノースロワー88 / 88Sで無理な除雪

本機は、ブロー型の除雪機で、踏固められた路面、屋根から落ちた氷まじりの雪や越年した春雪などの除雪は困難な場合があります。

これらの除雪は、1クラス上のスノースロワー11-16をご使用ください。

■ 特長と構造

● 群を抜く除雪能力

永年の研究から生まれたバランスのとれた除雪サイズ790mm(除雪巾)×500mm(除雪深さ)と除雪機専用強力エンジンを装備しました。

● エンジン始動は1パツでOK

世界で一番多く愛用されているアメリカ、ブリグス&ストラトン社製産業用エンジン(除雪機専用型)で、強力8馬力は厳寒時での始動もスムーズ。

● 雪質にあわせてスピードを調整

前後進2段切換で硬い雪、湿ったベタ雪でも条件に合わせてスピード調整が可能です。

● 静かなゴム製クローラ

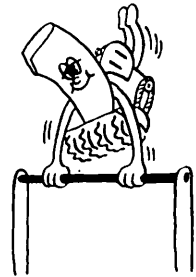
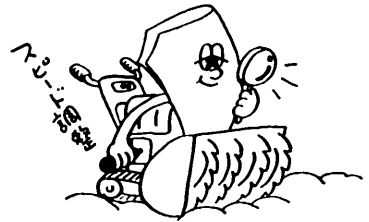
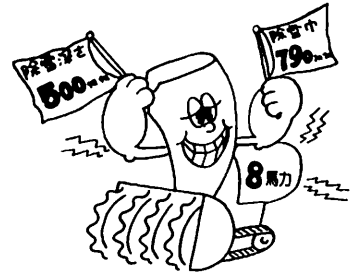
振動・騒音が少なく、路面を痛めません。
鋼鉄製ラグはスリップが少なく駆動力が大きい。

● 操作はいたって簡単

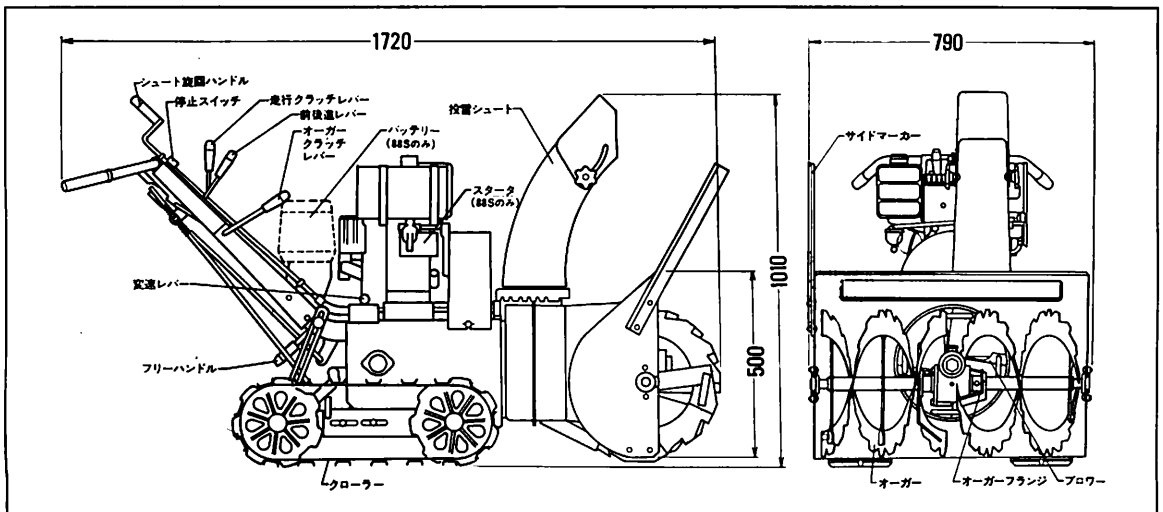
ハンドルをはじめ運転に必要なレバー類は、すべて手元近くに扱いやすくレイアウトしました。

● 小型・軽量

バランスのとれた軽いボディーは、取りまわしが楽で作業が疲れません。



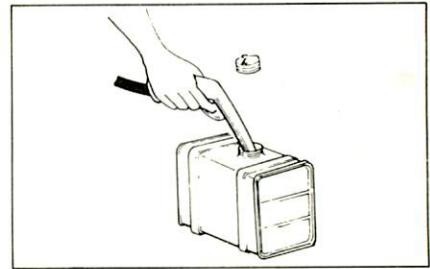
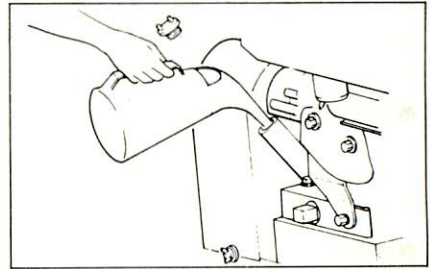
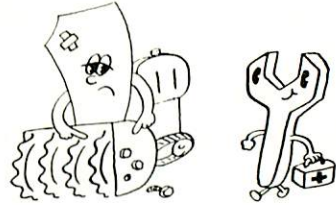
■ 各部の名称



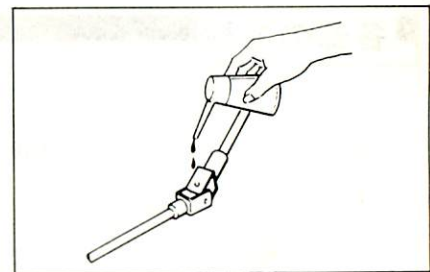
始動前の点検

始動前に次の項目を毎日チェックしてから始動してください。

1. ボルト、ナット類がゆるんでいると本機の寿命を著しく短くし、又、本機損傷の原因となりますので、ゆるみがないか良くチェックしてください。
2. 始動前には、ブロー部及びクローラー、その他の回転ハンドルなどが凍結していないかを確認し、凍結している場合は氷雪を取除いてください。
3. ブロー及びオーガー軸に、針金又は荷造り用のヒモなどが巻付いている場合、オイルシールなどを損傷しますので、必ずチェックして取除いてください。
4. 各ハンドル、レバー類の動きに異常はないか確認してください。調整が必要な場合は、「各部の点検と調整」の項を参照して調整してください。
5. エンジンオイル(SAE #10W)は毎日点検し、注油はオイルキャップをはずし、エンジンオイル(SAE #10W)を注入口からあふれるまで入れてください。(容量1.3ℓ)
6. 燃料タンクには、必ずガソリンを満タンにしてください。(容量 3.8ℓ) 運転中のガス欠を防ぎます。



7. エルボ噛合部や各ハンドル支点部分など滑動部にはマシン油を毎日注油してください。

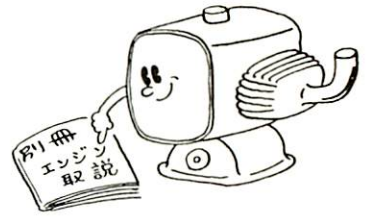


8. 予備のシャーボルトを、運転中の切断などに備えて、必ず何本かお持ちになってください。



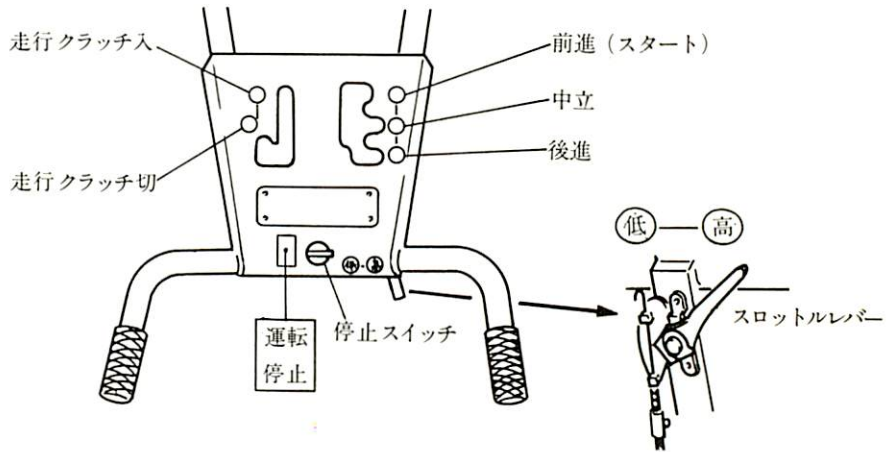
エンジンの始動と停止

エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書を良くお読みになってください。



■始動方法

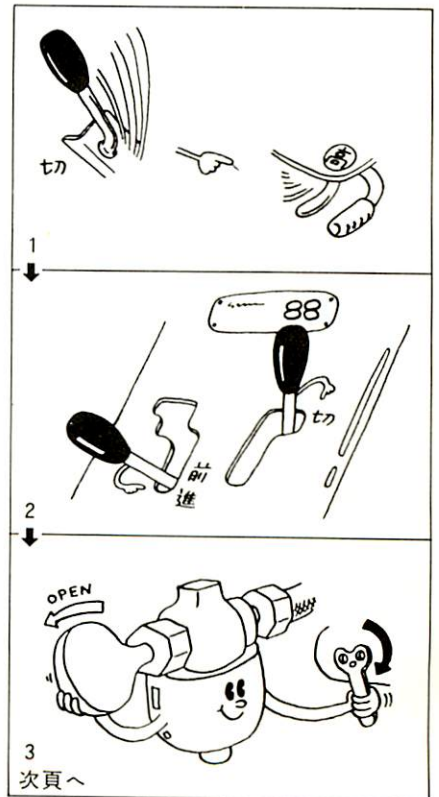
88S型エンジンの「運転・停止」操作は通常下図のエンジンキーにより行ってください。ハンドルについている「運転・停止」スイッチは常に運転の位置にしておき、非常停止の時だけ操作してください。



① オーガークラッチレバーを切にし、スロットルレバーを高の位置にします。

② 走行クラッチレバーを切にし、前後進レバーを前進 (スタート) の位置にします。

③ 燃料バルブを開け、チョークレバーを完全に下げる。



④ 停止スイッチを(運転)に入れます。

⑤ エンジンが冷えきっている場合は、スターターロープを軽く2～3回引いて潤滑油を回転部にまわすと始動が楽です。

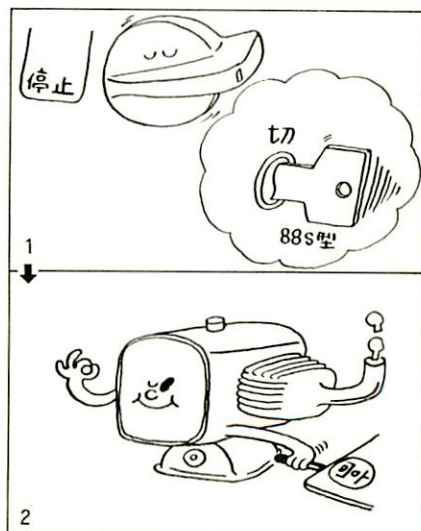
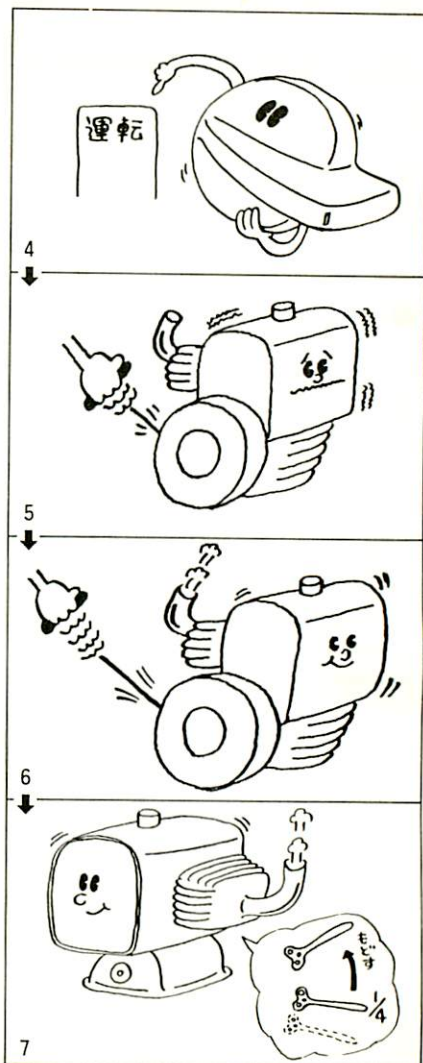
⑥ スターターロープを強く引きます。セルモーター付の88S型は、エンジンキーをスタートの位置へまわします。

⑦ エンジンが始動したらチョークレバーを $\frac{1}{4}$ ぐらい戻し、エンジンが暖まるにつれて徐々にチョークレバーを元の位置に戻します。

■停止

① エンジンの停止は、ハンドルの手元にある停止スイッチを(停止)の位置にします。88S型は、エンジンキーを切にして停止させます。

② エンジンが完全に停止してからスロットルレバーを(高)の位置にしておきますと、スロットルレバー関係部品の凍結による操作不能を防止できます。

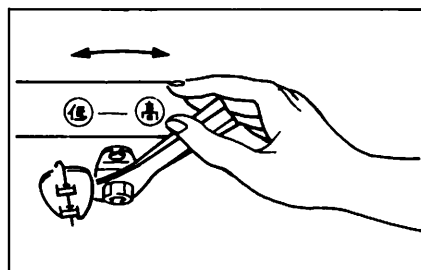


運転操作

作業に必要なレバー類は、次の7箇所です。

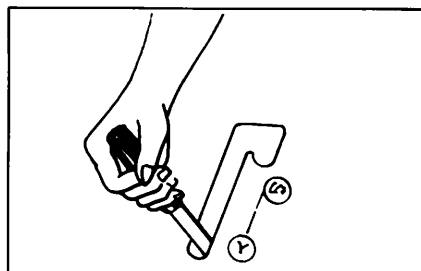
①スロットルレバー

エンジンの回転速度の調整、作業時は全開もしくは多少もどして使用します。



②走行クラッチレバー

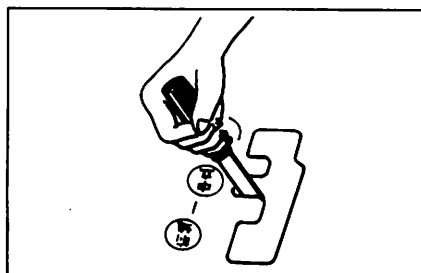
走行時はⒶの位置にし、走行しない時は必ずⒷにしてください。



③前後進レバー

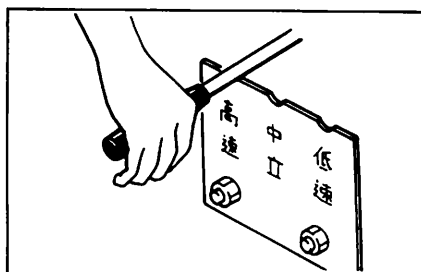
前進・中立・後進の切換レバーです。

前進・後進の切換えは、このレバー操作だけで行えます。



④変速レバー

- ・低速－通常の除雪作業用。
- ・中立－走行の停止。
- ・高速－移動時及び軽い雪や積雪の少ない際の除雪作業用。

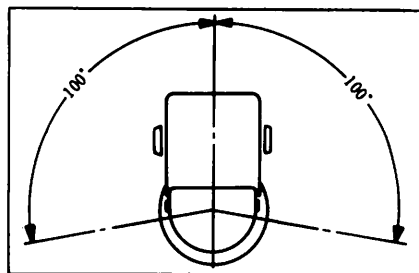


⑤オーガークラッチレバー

オーガーとブロワーを駆動する場合に④の位置にします。

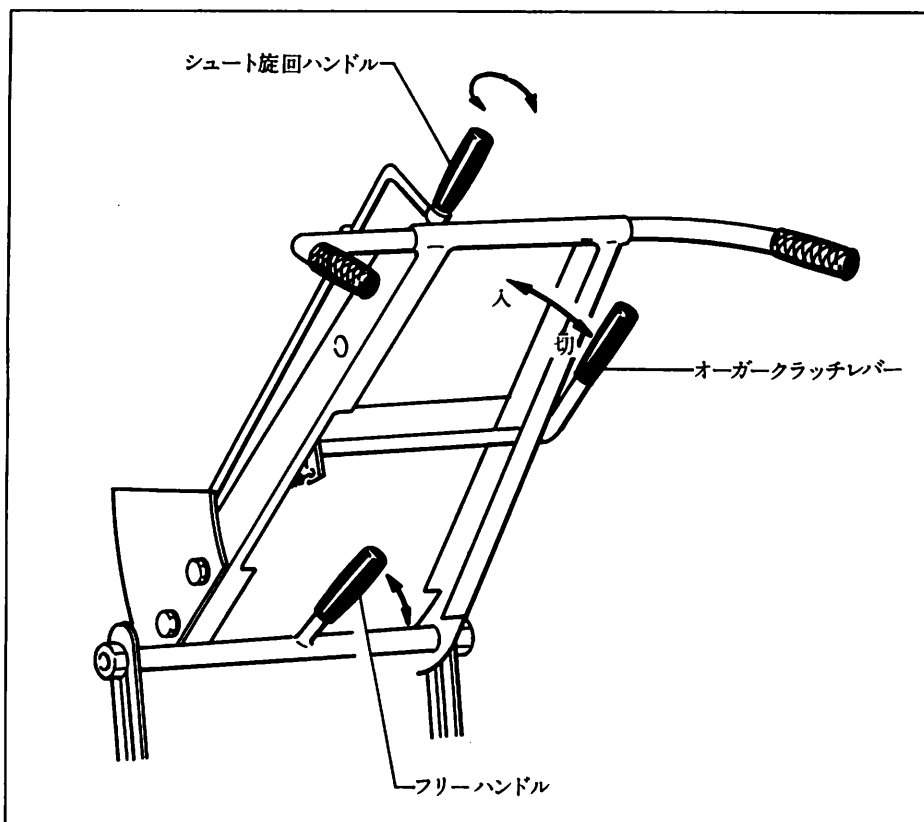
⑥シュート回転ハンドル

投雪の方向を左右 各100°まで変えられます。



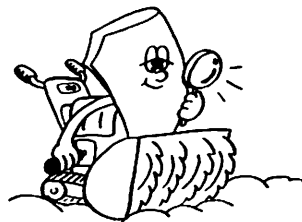
⑦フリーハンドル

除雪路面に凹凸のある場合は、ハンドルを後下方に倒すとクローラー部と本機がフリーの状態となり、オーガー部を自由に上下させることができます。

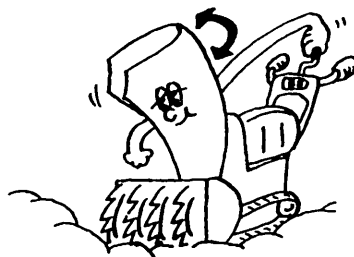


■ 運転順序

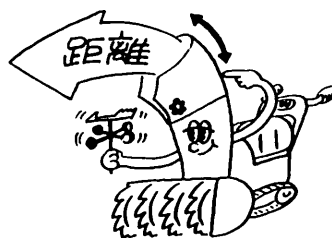
1. 雪の性質、量により変速レバーで速度を選択します。
一般に雪の量の少ない時や軽い場合は高速に、オーガー巾いっばいで使用する場合は低速に入れてください。



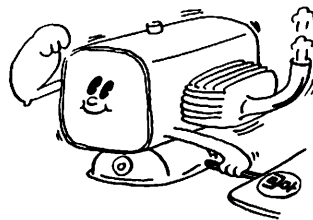
2. シュート旋回ハンドルで投雪方向を選択します。
投雪方向の安全をよく確認してください。



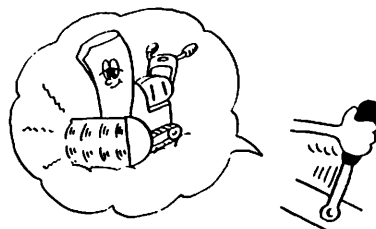
3. エルボ先端のシュートで投雪距離を選択します。
風の向きや強さで距離を考えてください。



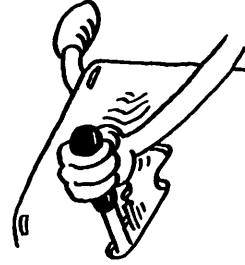
4. スロットルレバーを操作し、エンジン回転を ㊦ にします。
軽い雪や量の少ない場合は、回転を多少下げてください。



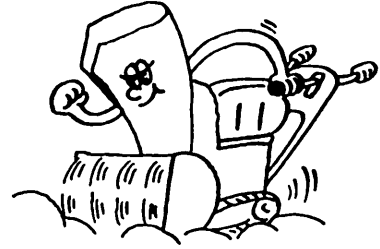
5. オーガークラッチレバーを ㊧ にし、オーガーとブロワーを回転させます。



6. 前後進レバーを(前進)に入れます。

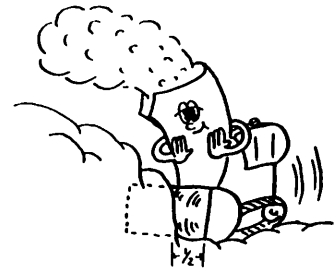


7. 走行クラッチレバーを(Ⓐ)にすれば、作業の開始となります。



■除雪の際の一般知識

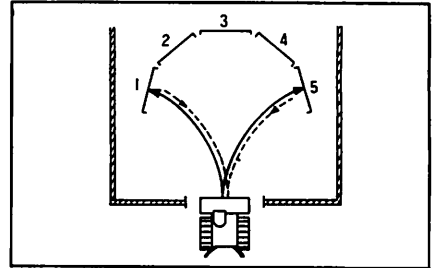
- 雪が浅い場合や軽い雪などの時は、スロットルレバーを(Ⓐ)から少し下げて使用することもできます。
- 重い雪や雪が深い場合は、オーガー巾いっぱいを使用しないで除雪巾を少なくしますと楽に除雪できます。



- 重い雪や雪が深い所で走行抵抗が一時的に大きくなったときは、いったん走行クラッチレバーを(Ⓑ)にして抵抗を取除いてから、再び入れて除雪してください。
- フリーハンドルは不整地では、一般にフリーの状態にして、オーガーを自由に上下出来る様にして除雪します。



- 雪が深い中では、雪の抵抗により前進による旋回が困難となります。この場合は、図のように前・後進繰返しによる除雪で旋回スペースを確保すると作業能率が上がります。



- 積雪高が50cm以上の場合は、サイドマーカをオーガケースの左右、いずれか雪のある側に固定してご使用ください。



- 左右に投雪できない場合は、シュートを前方にし、送り込みながら除雪してください。

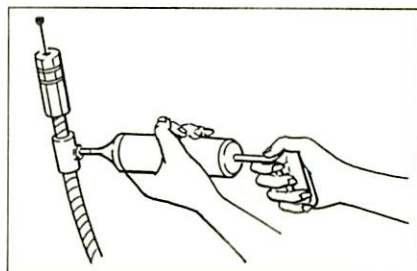
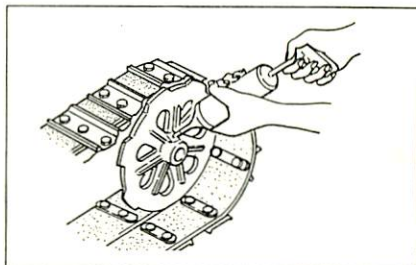
各部の点検と調整

毎日チェックする項目は「始動前の点検」を参照してください。

■注 油

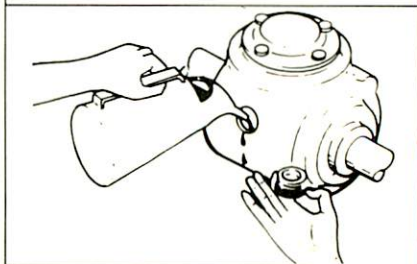
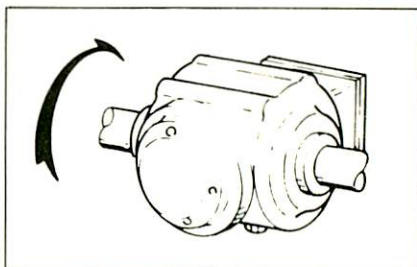
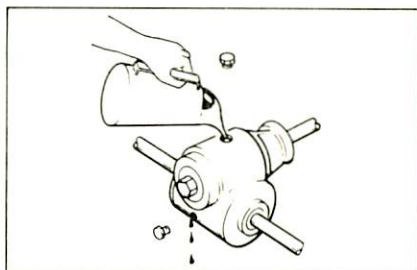
1. グリース注油

- クローラー後部軸のスプロケットホイール(左・右)のグリースニップルに10時間毎に、自動車用シャーシグリースを注入してください。
- スロットルワイヤー、オーガークラッチワイヤーのグリースニップルには10時間毎にグリースを注入し、ワイヤーケースに水分が入って凍結するのを防いでください。

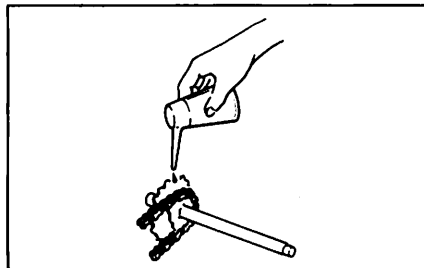


2. オイル注油

- オーガークラッチボックスには、ギヤオイル(SAE #80)を図のようにレベルプラグの穴よりオイルが流れ出すまで入れてください。オイル交換は、50時間毎に行ってください。
- ベベルギヤボックスには、50時間毎にギヤオイル(SAE #80) 250ccを交換します。注油はハンドルを持ち上げて、フレームを立てた状態で注油口からオイルがあふれるまで入れてください。注油栓は確実に締めてください。



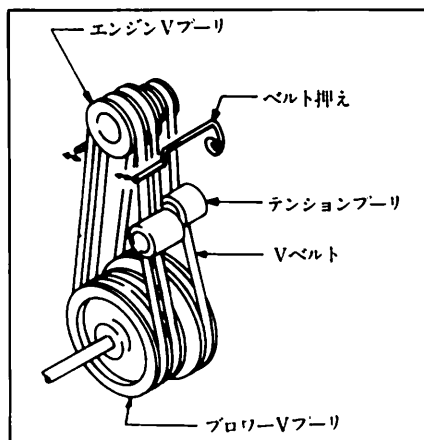
- 動力伝導のローラチェーンには、マシン油を10時間毎に注油してください。
- ボールベアリングは無注油で2年間は使用できます。3年目にお買い求めの販売店でチェックを受けてください。



■調整

1. 走行及びブローベルトのテンショナー調整

走行クラッチレバーとオーガークラッチレバーを ㊸ にした状態でエンジンプーリーが空転するようにベルト押えを調整します。

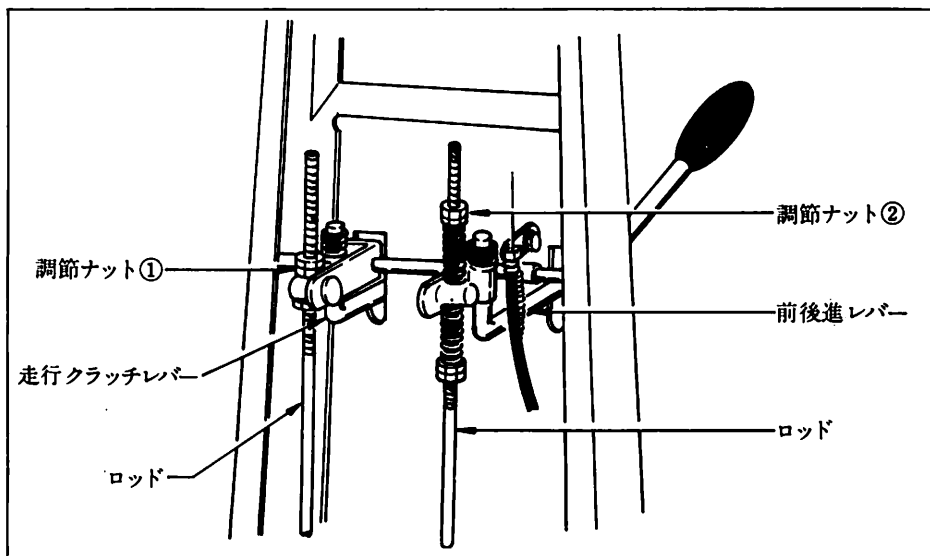


2. 走行クラッチレバーの調整

走行クラッチレバー ㊸ でテンションクラッチが入り、
㊹ の位置でテンションクラッチが離れます。
テンションクラッチの動きを見ながら下図の調節ナット①を
㊺ の位置で走行が完全に停止するように調整してください。

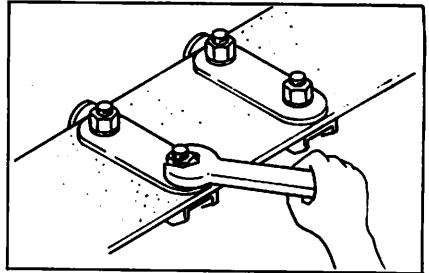
3. 前・後進レバーの調整

前進・中立・後進の調整を下図の調整ナット②をゆるめ、作動を確認しながら中立の位置を基準として調整してください。



4. グリッパー取付ボルトの増締め

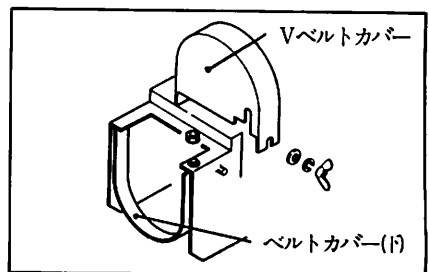
グリッパー取付けボルトは、最初の運転2～3時間後に、増締めが必要です。



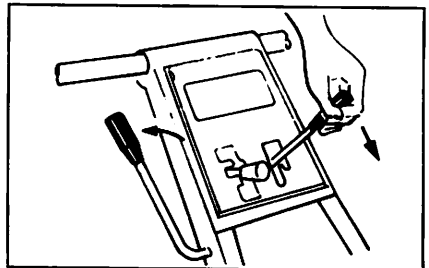
5. Vベルトの交換

Vベルトが伸びたり摩耗した場合は、次の順序で交換してください。

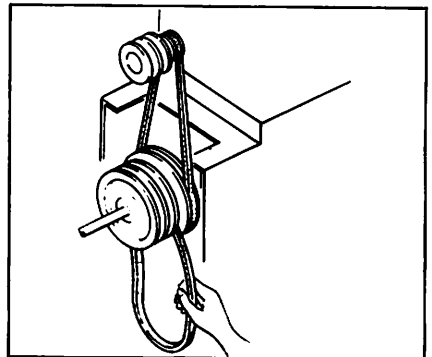
- ① Vベルトカバーを外す。
- ② ベルトカバー(F)を、取付ナットをゆるめてフリーにする。



- ③ 走行クラッチレバー及びオーガークラッチレバー ④ にし、テンションプーリーをベルトから離します。



- ④ ブロワー軸Vプーリーと走行軸Vプーリーとの間からVベルトを取り外す。



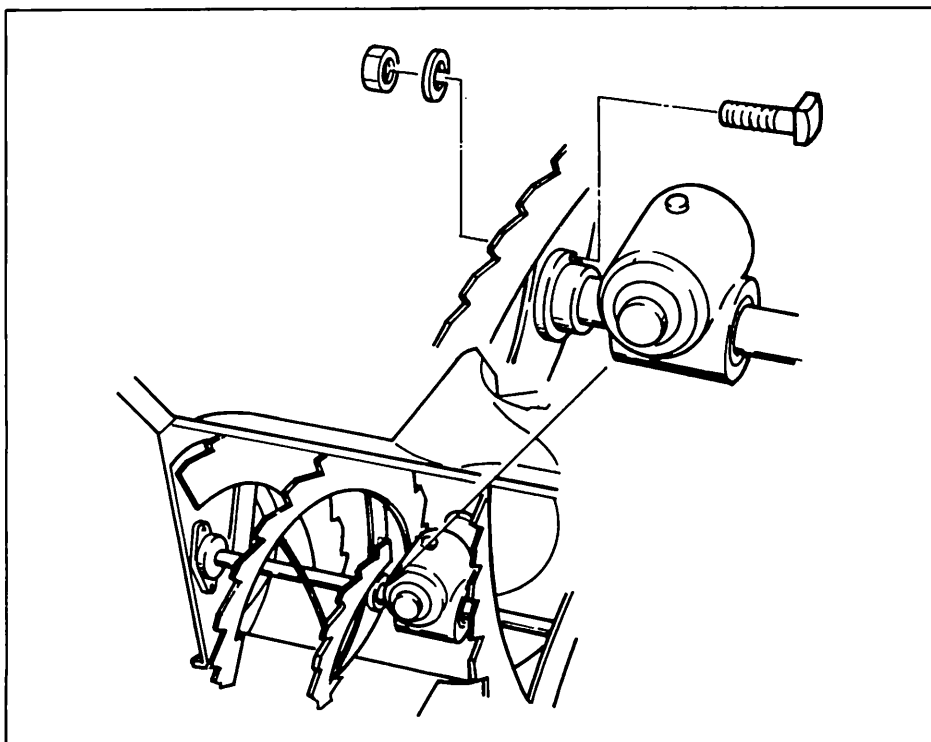
- ⑤ 新しいVベルトの取り付けは、上記の逆④ → ①の順で行ってください。

6. シャーボルトの交換

オーガーとオーガーケースの間に異物が詰まったりして、オーガーに過大な荷重がかかるとシャーボルトが切断し、本機の破損を防止します。シャーボルトは、オーガー左右に各1個ついています。切断した場合には、スペアのシャーボルトと交換してください。

【注意】

シャーボルトはヒューズの役目を果たしています。シャーボルトに他のボルトなどを代用しますと、機械破損の原因となりますから純正部品以外は絶対に使用しないでください。

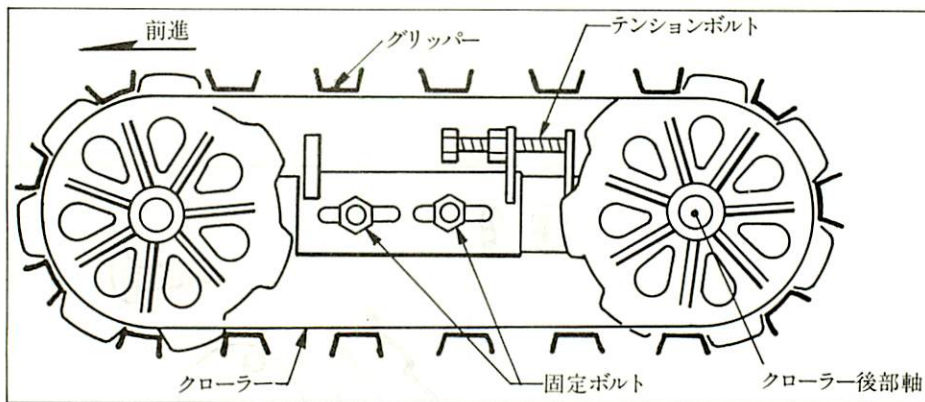


7. クローラーの張り調整

クローラーの調整は、固定ボルトをゆるめてから、テンションボルトのナットをゆるめ、クローラー後部軸を後に力いっぱい(約30kg)引いた状態でテンションボルトを張ります。クローラーの張りは左右同様にして、ゆるめたナットをしっかりと固定してください。

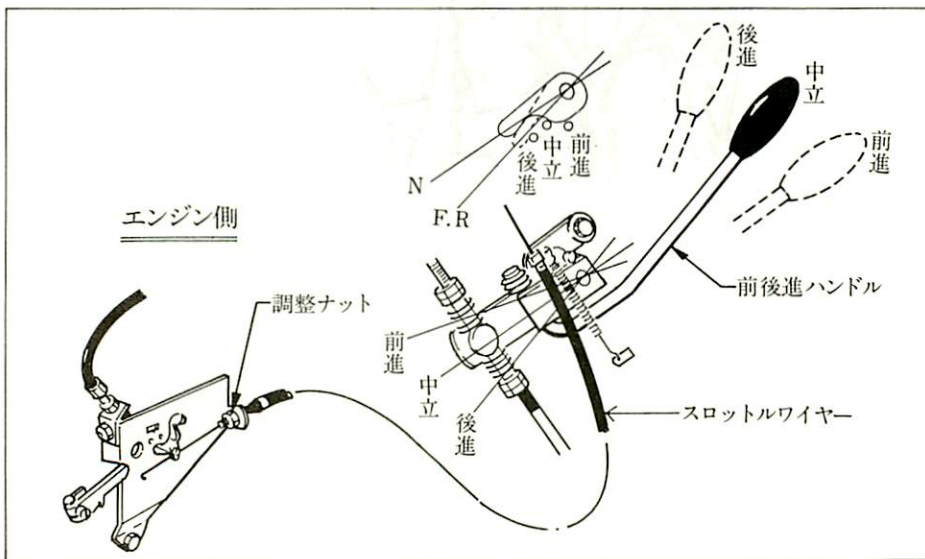
【注意】

クローラーのベルトを張りすぎますと、走行がスムーズでなくなり、又ベルトが切れることがありますのでご注意ください。



8. エンジンスローダウン装置の調整

前後進レバーの操作に連動して中立の位置でエンジンの回転数を自動的に下げる装置です。レバーが中立の際はエンジン回転数がスローとなり、前進及び後進の位置では、スロットルレバーによりエンジンの回転数を自由に調整できます。調整の場合は、スロットルワイヤーの調整ナットでワイヤーの外側ケースの長さを加減してください。



保管について

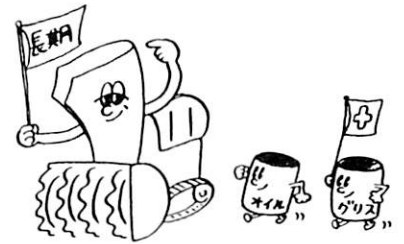
1. 日常の保管

- 作業終了後は、各部に付着した雪などを取除いてください。
- 屋外に置く場合には、必ず覆いを完全にかけてください。



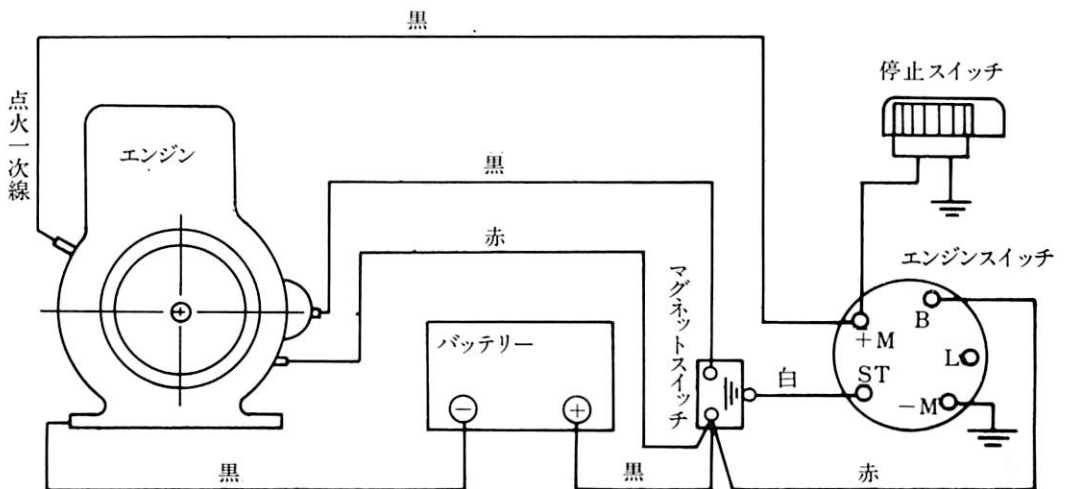
2. 長期の保管

- 注油の項で説明したすべての注油箇所へ注油し、滑動部及びサビの生じやすい軸、グリッパーなどに防錆のためにグリースを塗布してください。
- オーガークラッチハンドルは ⊕ の位置にし、長期保存によるスプリングの疲労をなくします。
- エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書の「格納上の注意事項」をご覧になって処置してください。



配線図

■ 型式 IZ-Y88S (セル付型)



諸元・性能表

名 称		スノースロワー88	スノースロワー88S
型 式		I Z - Y 88	I Z - Y 88 S
機 体 仕 様	機体 寸法	全 長	1,720mm
		全 巾	790mm
		全 高	1,010mm
	走 行 装 置	ゴムクローラー(鋼製ラグ付)	
	接 地 圧	0.084kg/cm ²	0.089kg/cm ²
	重 量	176kg	188kg
エ ン ジ ン	名 称	ブリグス&ストラトン	
	型 式	モデル 190432	モデル 190437
	排気量・出力	319cc 8HP/3,600r.p.m.	
	使 用 燃 料	ガソリン	
	燃料タンク容量	3.8ℓ	
	始 動 方 式	ロープリコイルスターター	12Vセルモーター及びロープスターター
	バッテリー	12N24-3 (24Ah)	
除 雪 装 置	除 雪 装 置	ツーステージ形	
	投 雪 範 囲	200度	
	オ ー ガ ー 巾	748mm	
	オ ー ガ ー 径	406mm	
	オーガー回転数	128r.p.m.	
	オーガー駆動法	センタードライブ	
	ブ ロ ヱ ー 径	310mm	
	ブロー回転数	1,279r.p.m.	
性 能	除 雪 巾	790mm	
	除 雪 深 さ	500mm	
	除 雪 能 力	低速-296 m ³ /時 高速-592 m ³ /時	
	投 雪 距 離	4 ~ 12 m	
	走 行 速 度	前進 2 段 低速 750m/h 高速 1,500 m/h	後進 2 段 低速 750 m/h 高速 1,500 m/h
最小回転半径	その場回転		

■保証について

お買い求めいただいたスノースロワー88/88Sは、納入日より6ヶ月間の保証が付いております。

販売店より納入時にお渡ししました保証書は、より良いアフターサービスをお受けいただくためにも大切に保存してください。保証期間中であっても、保証書のご提示がありませんと有償サービスをお願いするケースがありますので、ご注意ください。

■部品のご注文について

部品のご注文については、次の事項をお知らせください。

〈例〉 機 種……………スノースロワー88
製造番号……………8881237
部品番号……………410-5
部 品 名……………Vプーリ
個 数……………1ヶ

good new days
人間らしい美しい未来を

ヤナセ

総発売元 株式会社 ヤナセ
商事事業部

東京都港区芝浦1-6-38 〒105
電話 東京 (03)452-4311(大代表)

製造元 石狩造機株式会社